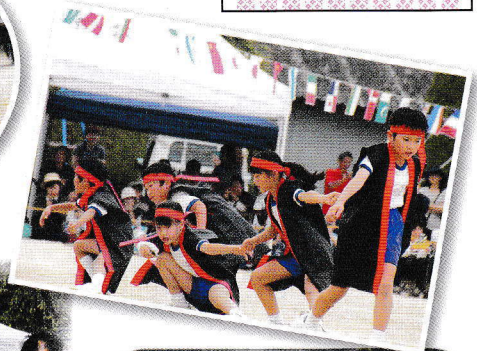




147号
H30.7.20 発行

西江原
公民館だより

第6回 西江原町大運動会



西江原町大運動会を、晴天の五月二十六日、西江原小学校運動場にて多くの参加者のもとに盛大に開催しました。

第六回を迎えた小学校、幼稚園、公民館合同の大運動会は実行委員会並びに上級生児童の頼もしい運営もあつて、素晴らしい大会になりました。

午前中は、小学校の部で、リレー、組体操、応援合戦、踊りなど子供たちの元気で統制の取れた演技や競技に大きな声援が印象的でした。

午後の公民館の部でも、選手は、地区の応援を力に変えて、真剣に競技に取り組むとともに交流を楽しむ半日となりました。

一部と四部が同点で迎えた最終種目の「年代別リレー」は、個人的にも印象に残るレースとなりました。

その結果、公民館の部の成績は、優勝四部、準優勝一部、以下二部、三部の順位でした。

最後になりますが、この大会にご協力いただきました役員、団体関係者の皆様には、心よりお礼を申し上げます。

(体・レク部長 山室 基之)



ふれあいのまちづくり

館長 宗 高 平 八

五月二十二日の運営審議会と管理運営委員会において、別掲の新体制を組織するとともに事業計画や予算などが承認され、また、体レク部長がこの紙面で報告しているように、「第六回西江原町大運動会」も盛会に開催することができました。

さらには、八月の「井原夏まつり」への参加、「西江原町納涼盆踊り大会」の準備にも取り組んでいるところであり、お陰さまで平成三十年度の公民館事業も計画に沿って進んでおります。

さて、前年度、運営審議会に検討をお願い（諮問）しておりました、管理運営委員会の六専門部のうち、「福祉部」の改編については、「ふれあいのまちづくり部（ふれまち部）」に名称を変更するとともに、専門部の分掌等も整理して、公民館活動の更なる充実と西江原地区の豊かなまちづくりに一層の貢献をしてもらいたい旨の答申をいただきましたので、本年度は、当初から陣容を強化した「ふれあいのまちづくり部」としてスタートいたしました。

今までの「福祉部」は、主として「明るいまちづくりの集い」を西江原地区社会福祉協議会と共催して実施して来ましたが、今日身近な問題となっている少子高齢、人口減少社会や情報・ネット社会の進展などに伴う人間関係の希薄化などの問題に対応する専門部に担当分野を拡大して取り組むということで、参加する人が受身となる事業だけではなく、いろ

いろな年齢層の人が主体となって活動や交流をして、お互いに喜びや生きがいを享受するとともに、繋がりや拡がり、思いやりの心や郷土意識の醸成が図れるような事業を実施して「みんな地域や西江原を元気にしよう」を担当する専門部に改編したということです。

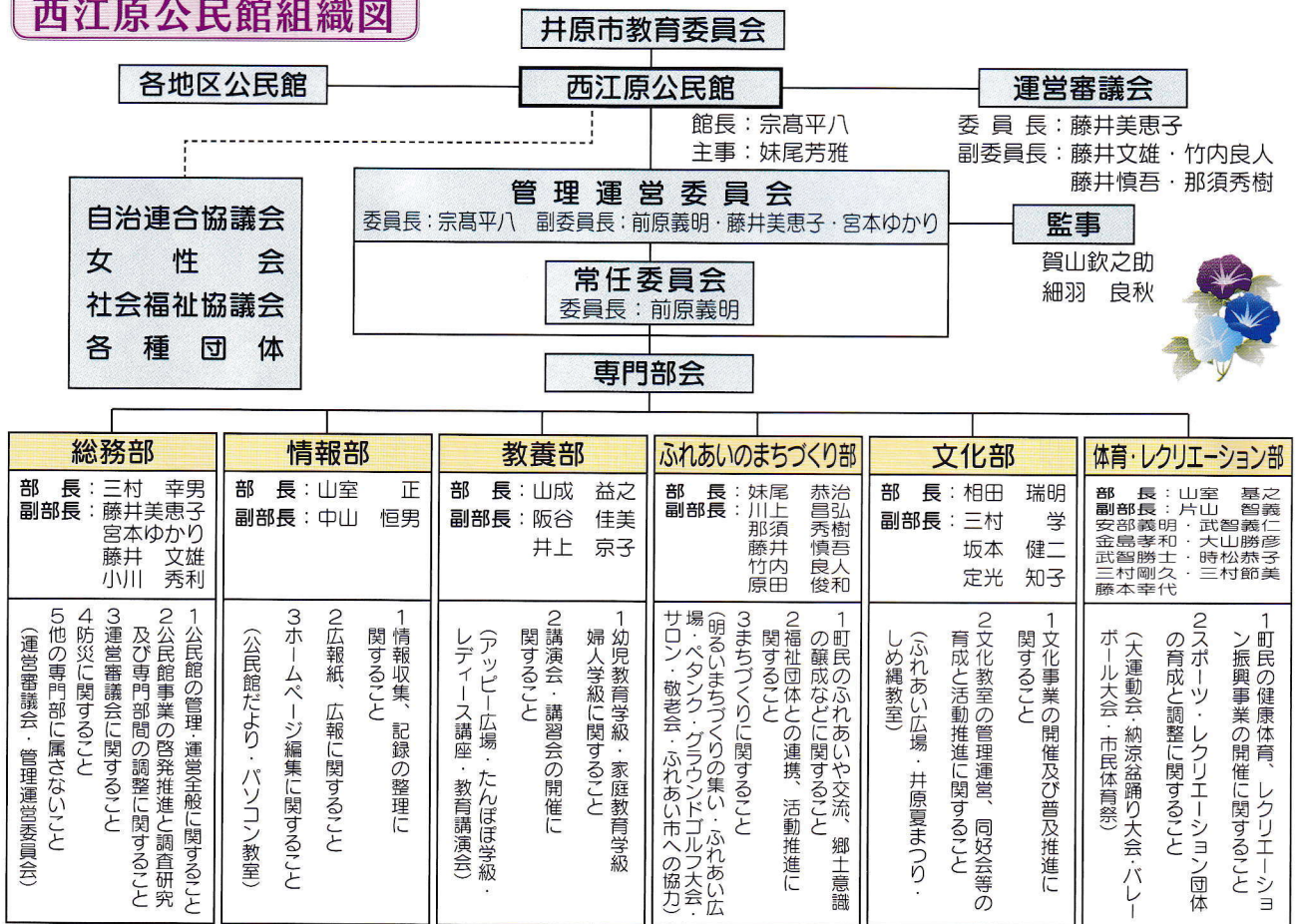
今日まで、西江原公民館では、先輩諸氏のご尽力により、各種事業をとおして前述の役割を果たしてきたと認められることではありますが、特に今回は、今日、公民館に求められる多岐にわたる要請について、運営審議会や常任委員会で検討するなかで、まずは、人々の繋がりを拡大・深化させることが、災害時や高齢社会などの諸課題にも対応できる基盤づくりになるといふことで「ふれまち部」が誕生しました。

「ふれまち部」は、「明るいまちづくりの集い」をはじめ、「ふれあひ広場」のテント村などの交流部門、地区対抗としない「ペタンク」や「グラウンドゴルフ」のスポーツ交流大会、まちづくり協議会と協働する「ふれあひ市」等を担当・実施して、町民・市民の皆さんの交流と親睦を深め、「元気で安心して暮らせる西江原」のまちづくりに貢献します。

私は、この度も努力むなしく館長任期五期目、九年目を務めることとなりました。

本年度も、町民の皆さまのご理解やご協力をいただき、心豊かなまちづくりを推進できる開かれた西江原公民館となるよう、管理運営委員会をはじめとする関係者一同の連携を図りながら努力したいと思っておりますので、一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

平成30年度 西江原公民館組織図



社協だより

平成30年度福祉委員

住み慣れた地域で、いきいきと、安心して暮らせる近所福祉活動のリーダー役として、本年度次の方々に福祉委員をお願いいたしました。毎日の生活の見守り、声かけなど地域の安全、安心を見守っていただきます。よろしくお願いいたします。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|----|-------|-----|------|------|----|------|----|------|------|
| 西町 | 青木隆明 | 中山貢逸 | 藤原昭夫 | 坊野久典 | 藤ノ木村松 | 川田克己 | 長谷利晃 | 戸倉直己 | 武田卓志 | 小池利文 | 仲井誠人 | 三島雄二 | 池田芙久 | 高田保 | 光守 | 大津寄信明 | 西新町 | 高橋和則 | 荒木伸介 | 定光 | 早川洋平 | 寺戸 | 早川洋平 | 森下純一 |
| 北田祐紀 | 松永文子 | 中山貢逸 | 藤原昭夫 | 坊野久典 | 藤ノ木村松 | 川田克己 | 長谷利晃 | 戸倉直己 | 武田卓志 | 小池利文 | 仲井誠人 | 三島雄二 | 池田芙久 | 高田保 | 光守 | 大津寄信明 | 西新町 | 高橋和則 | 荒木伸介 | 定光 | 早川洋平 | 寺戸 | 早川洋平 | 森下純一 |
| 益美 | 松永文子 | 中山貢逸 | 藤原昭夫 | 坊野久典 | 藤ノ木村松 | 川田克己 | 長谷利晃 | 戸倉直己 | 武田卓志 | 小池利文 | 仲井誠人 | 三島雄二 | 池田芙久 | 高田保 | 光守 | 大津寄信明 | 西新町 | 高橋和則 | 荒木伸介 | 定光 | 早川洋平 | 寺戸 | 早川洋平 | 森下純一 |
| 益美 | 松永文子 | 中山貢逸 | 藤原昭夫 | 坊野久典 | 藤ノ木村松 | 川田克己 | 長谷利晃 | 戸倉直己 | 武田卓志 | 小池利文 | 仲井誠人 | 三島雄二 | 池田芙久 | 高田保 | 光守 | 大津寄信明 | 西新町 | 高橋和則 | 荒木伸介 | 定光 | 早川洋平 | 寺戸 | 早川洋平 | 森下純一 |
| 益美 | 松永文子 | 中山貢逸 | 藤原昭夫 | 坊野久典 | 藤ノ木村松 | 川田克己 | 長谷利晃 | 戸倉直己 | 武田卓志 | 小池利文 | 仲井誠人 | 三島雄二 | 池田芙久 | 高田保 | 光守 | 大津寄信明 | 西新町 | 高橋和則 | 荒木伸介 | 定光 | 早川洋平 | 寺戸 | 早川洋平 | 森下純一 |

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|------|-----|------|------|------|-------|-------|-----|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| 東新町 | 三島誠人 | 池田雄二 | 高田芙久 | 光守保 | 長谷井勲 | 森山治美 | 平川昌利 | 多賀伊勢男 | 浅草満智子 | 西山均 | 石井圭子 | 三宅ツヤ子 | 原田貞保 | 田中共造 | 杉原顕正 | 津組美保子 | 大山宜昭 | 松本敦子 | 西江史郎 | 松本準太 | 東新町 | 片山暉子 | 森本弘子 | 高木昭子 |
| 東新町 | 三島誠人 | 池田雄二 | 高田芙久 | 光守保 | 長谷井勲 | 森山治美 | 平川昌利 | 多賀伊勢男 | 浅草満智子 | 西山均 | 石井圭子 | 三宅ツヤ子 | 原田貞保 | 田中共造 | 杉原顕正 | 津組美保子 | 大山宜昭 | 松本敦子 | 西江史郎 | 松本準太 | 東新町 | 片山暉子 | 森本弘子 | 高木昭子 |
| 東新町 | 三島誠人 | 池田雄二 | 高田芙久 | 光守保 | 長谷井勲 | 森山治美 | 平川昌利 | 多賀伊勢男 | 浅草満智子 | 西山均 | 石井圭子 | 三宅ツヤ子 | 原田貞保 | 田中共造 | 杉原顕正 | 津組美保子 | 大山宜昭 | 松本敦子 | 西江史郎 | 松本準太 | 東新町 | 片山暉子 | 森本弘子 | 高木昭子 |
| 東新町 | 三島誠人 | 池田雄二 | 高田芙久 | 光守保 | 長谷井勲 | 森山治美 | 平川昌利 | 多賀伊勢男 | 浅草満智子 | 西山均 | 石井圭子 | 三宅ツヤ子 | 原田貞保 | 田中共造 | 杉原顕正 | 津組美保子 | 大山宜昭 | 松本敦子 | 西江史郎 | 松本準太 | 東新町 | 片山暉子 | 森本弘子 | 高木昭子 |

かぶとやまサポートセンター

日常生活を送るうえで、困難や支障を感じておられるお年寄りや障害のある方、そして、諸事情で援助が必要とされている人々に、地域住民がボランティアとして、できる範囲の援助をしようという、有償たすけあい事業「かぶとやまサポートセンター」を、平成三十年四月二日開設、オープンしています。相談の受け付けは、月曜日の午前中にしています。

(電話)〇八六六一七五―四三六七
次の方々が協力会員になって下さいました。今後、利用会員のお手伝いをしていただきますので、よろしくお願いいたします。

7月	井原市グラウンドゴルフ大会
8月	井原夏まつり 納涼盆踊り大会
9月	教育講演会
10月	市民体育祭 ベタンク・グラウンドゴルフ大会
11月	ふれあい広場
12月	しめ縄づくり バレーボール大会
1月	新年互礼会
2月	明るいまちづくりの集い

平成30年度の主な行事
第6回 西江原町大運動会は終わりましたが、今後の主な行事は次の通りです。多くの皆さんのご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 西江原地区社会福祉協議会 | 会長 | 三村 幸男 |
| 戸倉 | 相田 輝 | 森兼 陽子 |
| 才 | 佐藤 雅子 | 川上 敬子 |
| 長谷 | 森下 成子 | 渡辺 恵子 |
| 東町 | 原田 友子 | 坊野 昭夫 |
| 中町 | 大山 宮子 | 賀山 昌子 |
| 西町 | 宮谷 悦雄 | 西岡 静枝 |
| 小角 | 北田 初子 | 賀山 昌子 |
| 神戸 | 藤井 裕子 | 西岡 静枝 |
| 賀山 | 山室 将子 | 三村 恒香 |
| 賀山 | 落合由紀子 | 三村 幸男 |
| 賀山 | 田邊 和子 | 落合 晴光 |
| 賀山 | 和子 | 落合 延男 |

新役員紹介
西江原公民館運営審議会委員長 藤井美恵子
西江原公民館連合会長 藤井 文雄
西江原公民館ふれあいのまちづくり部長 妹尾 恭治

有難うございました
平成29年度西江原地区社会福祉協議会に対し町内の皆様より心温まるご芳志を賜りましたのでご報告申し上げます。
お寄せいただきましたご寄付は、趣旨を尊重いたしました。西江原地区の福祉向上、充実のために、有意義に使わせていただきます。
誠に有難く心より厚くお礼申し上げます。
これからも、福祉活動にご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ご芳名 (順不同)
【香典返し 満中陰志】
大山 久夫様 田中 賢次様
佐藤 都一様 原田 政宏様
松本 忠義様 定光 莊平様
細羽 昌彦様 金島 孝和様
安原 治信様 片山 功様
片山 輝幸様 大山那智子様
橋本 喬六様 池田 辰彦様
守本 孝昭様

西江原Aチーム 第3位 岡本幹夫さん 個人60才以上 優勝

井原市公民館協議会主催の第七回井原市公民館対抗三世代グラウンドゴルフ大会が七月一日(日)に井原市グラウンドゴルフ場で開催されました。

西江原からはA・B二チームが出場しA(岡本幹夫・小川幸之助・小川秀利・時松真友子・時松康隆・大山弘子)チームが見事第三位(二十一人チーム出場)に入賞し、年代別個人の、六十歳以上の部では、岡本幹夫さん(戸倉)が優勝するという活躍でした。なおBチームも第十三位と健闘しました。



まちづくり 第1回 ふれあい市

西江原地区まちづくり協議会主催の本年度第一回ふれあい市を六月二十四日(日)に公民館駐車場で開催しました。賑わいました。

今年度は、八月二十六日(日)、十月二十八日(日)、十二月二十三日(日)に開催を予定しておりますので、多くの皆様の出店やご来場をお待ちしております。

囲碁同好会 再開のご案内

囲碁愛好者の皆さん、ぜひご参加ください。待ってま〜す。

毎月 第2、第4 水曜日
午後1時より5時まで。
西江原公民館の和室にて

家庭教育学級 「たんぽぽ学級」

「学び・気づき・広がる」を学習テーマに学級生が集まり企画・運営をしています。仕事をしている人も参加できるようにスケジュールを調整しながら、毎回和気あいあいと活動をしています。また、家庭や子供の悩みなどを相談し合える場にもなっています。年度の途中からの参加も可能なので、興味ある方は、いつでも遊びに来てください。(沖津千春)

日時	学習内容
6月	開講式
7月	食育講座
10月	ペタンク・グラウンドゴルフ大会
12月	しめ縄づくり
2月	公民館清掃
3月	閉講式

幼児教育学級「アップフィールド」は一歳から四歳までのお子さんを対象として幼児園児や地域の方々との交流や親子のふれあいを大切にしなが、年の近い子供たちの遊びの場、親同士の情報交換の場として活動しています。お気軽にご参加ください。(原田かおり)

日時	学習内容
4月	開講式・読み聞かせ
5月	消防署見学
7月	三世代交流
9月	親子体操
10月	出前講座
11月	観劇会
12月	クリスマス会
2月	閉講式

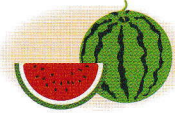
幼児教育学級「アップフィールド」

編集委員

本年度は次の編集委員で「公民館だより」をお届けいたします。よろしくお願いたします。

山室 正
片山 福男
柚木 文恵

大山 岡部
久美 芳雅



西江原公民館

〒715-0006 井原市西江原町1414
☎ 0866-62-8129

メール
nishi-km@ibara.ne.jp

ホームページ
http://www.ibara.ne.jp/~nishi-km/

自分磨きと親睦を目的として、様々な講座を展開して、楽しく学習します。今年度は次のような講座を予定しています。(宮本ゆかり)

日時	学習内容
5月	開講式・ストレッチ体操
7月	押し花
10月	西江原ふるさと探検ウォーク
12月	寄せ植え
2月	お酢を使った料理 閉講式

婦人学級 レディース講座
心豊かに輝いて